

播磨町の教育

播磨町の3幼稚園、4小学校、2中学校の平成26年度の教育スローガン及び成果と課題をご報告します。

広報はりま6月号でお伝えした教育方針とあわせてご覧ください。

▶問合せ 学校教育グループ ☎079(435)0545

播磨幼稚園

であう・つながる・育ち合う

211人の元気いっぱいの子どもたちが、わくわくドキドキ心ときめく体験ができるような環境の工夫や、個々の発達に応じた援助に今年度も努めてきました。

そして、多人数の園という環境をプラスにいかして、たくさんのであいやかわりができるように取り組んできました。

本年度の主な取り組みの成果

○たくさん心ときめく体験とであう

- 周りのいろいろな事に目が向けられ、おもしろそうだな、不思議だな、どうなっているのかなと積極的に関わる姿が増えてきました

○いろいろな人とつながる

- 遊戯室が半分保育室になったことでいろいろな学年、いろいろな組の子どもとかかわる機会が多くなり、これまでよりも、たくさん友達の名前を知り、顔見知りが増え親しみ姿が見られます



- 3歳、4歳、5歳でつくる“なかよし家族”での活動も多くなり、憧れの気持ちや、いつも相手を気に掛ける思いやりの気持ちが育ってきました
- 小学生との運動会や給食、地域の方との餅つきやクリーンキャンペーンなどでいろいろな人により親しみの気持ちをもつことができました

○“自分の命は自分で守れる子ども”に

- 歩いて登降園しながら、3年間で交通ルールを身につけようという意識を保護者も持ち、がんばる親子が増えつつあります
- テラスは歩く、廊下の曲がり角を飛び出さないなどの基本的なことも身につくようになりました

今後も家庭や地域の方、小学校との連携を大切にしながら播磨幼稚園らしい保育に努めていきたいと思えます。

蓮池幼稚園

遊びを通して、互いのよさを感じながら育ち合う子どもたち

幼児は、いろいろな遊びを通して、遊びの工夫や人とのかわり方など、たくさんを学び身につけていきます。

今年度は、幼児が自己表現できるための要因を探り、幼児一人ひとりのよさが発揮できるように、家庭との連携をとりながら環境構成の工夫をしたり、発達に応じた望ましい教師の援助の在り方を考えたりしてきました。

本年度の主な取り組みの成果

○安心して発言したり行動したりできる子に

- 個々の幼児の考えや気持ちを、丁寧に受け入れていくことで、安定した気持ちで生活できるようになってきています
- 声にならない表情や行動なども受け入れられ安定することで、自信をもって発言したり行動したりできるようになってきています

○自分のよさを活かせる子に

- 様々な経験の場を設定することで、一人ひとりのよさを活かせ、そのよさを周りの幼児に伝えていくことで、互いのよさを認め合えるようになってきています

○して善いことと悪いことが判断できる子に

- して善いことと悪いことの視点で幼児の行動をよく見て、その都度幼児と一緒に考える場をもったことで、して善いことと悪いことを意識して行動できるようになってきています

今後も、家庭や地域の皆さまとの連携を大切にしながら、“安心して自己表現できる幼児の育成”を目指してまいります。



お元気ですか?



▶問合せ すこやか環境グループ ☎079(435)2611

はりま健康プラン（第2次）

④食育活動の推進と連携体制の強化

「広げよう！ みんなで取り組む 食育の輪」

皆さんは、「食育」という言葉をご存知ですか？計画策定時のアンケートでは、食育に関心がある20歳以上の方は、68.6%でした。「食育」とは、私たちの心も体も「食」の上で成り立っているの、その「食」を大切にしよう、というものです。

現在の「食」にまつわる問題としては、①朝食を食べない人が増加しており、特に20代が多い、②野菜の摂取量が少ない、③生活習慣病が増えている、④食品の安全に不安があるなどがあげられます。

では、ご自身でどんなことに取り組めるでしょうか？朝食はコーヒーだけという方は、まずはおにぎりやバナナ、ヨーグルトなどの食べやすいものを一口でも食べる習慣をつけるところからはじめましょう。朝食を食べることで勉強や仕事の効率がアップします。

また、野菜をとりにくい方は、野菜たっぷりの味噌汁やスープを多めに作っておく、カット野菜や冷凍野菜を利用するのもおすすめです。外食が多い方は、野菜が多く含まれている料理を選ぶ、野菜の小鉢を一品足すなども工夫の一つです。

ほかにも、買い物をする際に、パッケージの栄養表示を確認してみましょう。どんなものが含まれているのか、どれぐらいのエネルギー量があるのか知ることができ、自分の体に合った食品を選ぶ手助けになります。

「生活習慣病」と聞くと、中高年になってから、というイメージの方もいらっしゃると思いますが、もっと若い年齢から「生活習慣病」にかかっている人も増えてきています。いつまでもいきいきと過ごすために、まずは、ご自身の食事を大切に、3食楽しくおいしく食べましょう。そして、「食事を大切にする気持ち」を周りに広げて、皆さんでできることから取り組めるようにしましょう。

3月の保健行事

▶問合せ すこやか環境グループ ☎079(435)2611

すくすく健康づくり (注) 7:00現在に警報が発令されている場合などは中止になります。

内 容	日時(受付時間)▶場所	対 象 者	備 考 (*は持参するもの)
乳 児 健 康 診 査	18日(水) 13:00~13:20 ▶福祉会館	平成26年 11月生まれの乳児	* 母子健康手帳 * 通知書(問診票)
10カ月児健康診査	平成27年4月末日まで 時間は各医療機関による(要予約) ▶播磨町・稲美町・加古川市内の 小児科(指定医療機関)	平成26年 5月生まれの乳児	* 母子健康手帳 * 健診受診票 * 健康保険証 * 乳児医療受給者証
※対象者には受診票などを郵送しますので、説明書をよく読んで、指定の医療機関に予約のうえ、受診してください。 ※対象者で受診票がない場合は、すこやか環境グループへ申し出てください。			
1歳6カ月児健康診査	6日(金) 13:00~14:00 ▶福祉会館	平成25年7月~8 月生まれの幼児	* 母子健康手帳 * 通知書(問診票)
3歳児健康診査	13日(金) 13:00~13:30 ▶福祉会館	平成23年 12月生まれの幼児	* 母子健康手帳 * 通知書(問診票) * 早朝尿(5cc)
内 容	日時(実施時間)▶場所	対 象 者	備 考 (*は持参するもの)
両 親 学 級	4日(水) 10:00~11:30 ▶南部子育て支援センター	出産予定のご夫婦	* 母子健康手帳 妊娠中の栄養、子育て体験、先輩ママと参加者との交流

内 容	日時▶場所	対 象 者	備 考 (*は持参するもの)
健 康 相 談	17日(火) 13:30~15:30(受付時間) ▶福祉会館	一般住民	保健師、栄養士が個別に相談に応じます。(予約制) * 健診結果、食事記録
糖 尿 病 相 談	12日(木) 13:30~15:30(受付時間) ▶福祉会館	一般住民	糖尿病療養指導士・保健師が個別に相談に応じます。(予約制) * 健診結果、食事記録

3月の保健相談

※電話予約制です。お申し込みは各課まで。

▶場所 加古川健康福祉事務所

こころのケア相談

▶日時 9日(月)、16日(月)
13:00~14:00
▶申込み 地域保健課 ☎079(422)0003

酒害相談

▶日時 9日(月) 13:00~14:00
▶申込み 地域保健課 ☎079(422)0003

EIS・肝炎ウイルス検査相談

※原則として匿名で無料実施します。
▶日時 11日(水)、25日(水)
9:10~10:20
▶申込み 健康管理課 ☎079(422)0002

専門栄養相談

▶日時 11日(水) 9:30~11:30
▶申込み 健康管理課 ☎079(422)0002

未来を拓く子どもたちの豊かな人間力の育成

本校では学校目標を常に意識しながら、大きな未来を持ち、自ら未来を切り拓く子どもたちを育てるために、この一年を力一杯教職員一丸となって取り組んで参りました。

成果と課題

〈言語活動と理数教育の充実〉

本校は「説明する理数教育」をテーマとしながら、本年度の学習活動に取り組んで参りました。それは理数教育を重点としながら、子どもたちに言語能力自体の向上・形成をはかる取り組みだったと言えます。言語能力はもちろん理数科以外全ての学習の基盤となるものです。そうした成果は子どもたちの日々の授業やノートに、また学力としてあらわれていると存じます。

→第四次「説明する理数教育」自主研究発表会の実施

→より焦点化した次年度の実施へ

〈学級経営を基盤とした学校行事の推進〉

本校では、教育の原点は児童一人ひとり

を大事にする学級経営にあるとの考え方に立脚し、「学級目標の確立(My Stile)」「蓄積」「継続と飛躍」を合い言葉に教職員の共通認識のもと、学校運営に当たって参りました。であるからこそ地域・保護者の皆さま・児童・教師で感動的な諸行事を行ってこれたと存じます。

→感動ある学校「学校に熱あれ」

→継続こそが力なり

まもなく、平成26年度も終わろうとしています。この1年間の関係各位皆さまのご支援に深く感謝申し上げます。



夢かがやきともに学びをきりひろく心豊かな西っ子の育成一真の「生きる力」をめざして一

成果と課題

今年度掲げた3つの実践目標について振り返りました。

1 基礎・基本を大切にされた確かな学力(知)

朝の学習タイムで、音読・読書・読み聞かせ・計算を継続的にを行い、言語活動や計算力など基礎学力の定着に努めました。

また、5、6年生の兵庫型教科担任制を充実させるとともに1~4年生では算数の教科専門指導教諭と連携しながらきめの細かい学習指導に努め、学力向上をめざしました。



2 命を大切に、友だちや仲間を思いやれる豊かな心(徳) 道徳の授業を道徳教育の要として、引き続き研究を進めています。自分の生き方を振り返りながら道徳的価値を高め道徳的実践力につながる授業をめざしています。6月のオープンスクールでは全学級で道徳授業を公開しました。

11月21日には、その成果を道徳教育研究発表会として近隣の先生方に多数授業をみていただきました。

また、毎月11日を「人権を確かめ合う日」として、仲間はずれやいじめについて学級指導を行いました。

3 困難にくじけないたくましい健康な体(体)

体育の授業の充実はもちろんのこと、なわとび検定やランランタイムなどで自分の記録に挑戦し、そのことでたくましい健康な体づくりをめざしました。

また、食育については、保健委員会と給食委員会が自作視聴覚教材「西小ヒーロー レッド・イエロー・グリーン」を製作し、全校集会で披露しました。なおこの作品は見事東播磨・北播磨地区視聴覚教材コンクールで最優秀賞に選ばれました。

最後に今年度は阪神淡路大震災から20年という年です。12月には、ベルマーク活動で交流を深めている陸前高田市の元校長先生にご来校いただき貴重な講演を聴かせていただき、改めて「命を守る」ことについて考えることができました。

いきいきと自分らしさを発揮する子どもたち ~はなそう きこう つながるこころ~

本園では、幼児が友達や教師とかかわって遊んだり生活したりする中で、互いのよさを感じながら心と心をつなぎ、安心して自分が発揮できるように努めてまいりました。

本年度の主な取り組みの成果

○友達とのかかわりのなかで

- 3歳児は、「入れて」「いいよ」「一緒に遊ぼう」などの言葉が、友達とのかかわりの中で言えるようになりました
- 4歳児は、相手の話を聞こうとしたり、イメージを共有したりしながら安心して自分の思いを出すことができるようになってきました
- 5歳児は、友達の考えを受け入れたり互いの考えを認め合ったりし、心と心のつながりを感じながら生活を進めようとするようになってきました

○地域や家庭とのかかわりを通して

- 具体的な子どもの育ちを保護者に伝えることで、一緒に子どもの育ちを感じ育んでいくことができました



- シニアクラブや絵本ボランティア、小学生、中学生など、地域の様々な人とふれあう中であたたかい気持ちや言葉にふれることができました
- 挨拶運動を始め、基本的な生活習慣が身に付くように、親子で一緒に実践し、取り組んできました

今後も、家庭や地域の皆さまとの連携を大切に、心豊かでいきいきと輝いている幼児の育成を目指し、努力してまいります。

播磨小学校は前進します！「平成26年度を振り返って」 —「心」「学び」「体」「食」の全てが、子どもの成長につながっています—



また、思いを伝え合うコミュニケーション能力を、さらに磨く必要があります。

そこで、課題解決に向け、誰もが「分かる」「できる」全員参加の授業づくりを目指し、取り組み中です。

体を鍛える → 丈夫な体をつくります

休み時間には、(サッカー、バスケットボール、キックベース、ドッジボール、バレーボール、一輪車、縄跳び、鬼ごっこ、鉄棒、登り棒、うんてい、タイヤ跳び、クラスでの遊びなど)外で元気に遊ぶ子どもが増えています。

教師は、子どもと一緒に外遊びする時間を大切にしています。

地域などのスポーツ大会・各種行事への参加を積極的に勤めています。

食育を推進します → よく食べ、よく動き、よく寝て、健康な子どもになろう

楽しくおいしい学校給食を通して、食事の大切さやバランス良く食べる習慣を身につけさせる実践(給食指導)をしています。給食を食べる学級が多く、残食が減少しています。

「播小ランチ」(家族・友だちと一緒に給食を食べよう)を通して、保護者・地域住民と共に食の大切さを実感し、「味わい・語る実践」を進めています。

笑顔で元気に登校し、楽しく過ごし、今日も来てよかったと満足して帰る、心と心豊かな播磨小学校を目指しています。

今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。(播磨小学校を応援してください!!)

心を鍛える → 子ども一人ひとりを大切にします

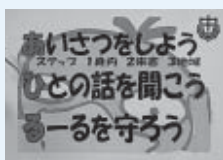
ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、どの子にとっても「ないと困る支援」、「あると便利な支援」を推進し、子どもの思いを大切にしながら、一人ひとりの子どもにきめ細かく接しています。

「はりまっこフェスティバル(3~6年生の出し物、ステージ発表を全学年が教室を自由に訪問して、体験・鑑賞する活動)」「はりまっこ活動(どの学年も5~6人ずつ集まり、計30数人で構成されたグループが、運動やゲームを楽しむ活動)」などを通して、自分を高める活動・体験を推進しました。その中で、約束や決まりを守り、礼儀の大切さを知り、誰に対しても思いやりを持って接することができる心の育成を図りました。

学びを鍛える → 学力がぐんぐん伸びる学校をつくります

読む・書く・聞く・話すなど基本的な学習習慣の定着にまだ課題があります。

はばたけ南っ子 『あ(あいさつをしよう) ひ(ひとの話の聞こう) る(ルールを守ろう)』 の推進



目標の成果と課題

○あいさつの励行

「ステップ1：身内、ステップ2：来客、ステップ3：地域」を合い言葉に、毎朝生徒が校門であいさつ運動を展開しました。また、PTAによる声かけも実施しました。成果として、自然にあいさつができるようになってきています。人間関係を円滑にするためにも、ますますあいさつの輪を広げていきたいと思ひます。

○授業の充実

生徒と教師双方が、「授業で勝負」を意識して、落ち

着いた中で学習を進めることができました。

その結果、前向きに学習に取り組む生徒が増加し、学力アップにつながってきています。今後は更に、復習や予習など、家庭学習の定着を図っていく必要があります。

○個が活きる学級づくり

行事に対する取り組みを始め、集団で生活する中で様々な体験を通して、生徒はたくさんのかことを学びました。今後とも、人それぞれの個性を認め、尊重し合えるような学級・学年・学校づくりができような気運づくりを心がけていきます。



播磨南中学校ホームページ

<http://www.harinanj.ed.jp>

「夢」と「希望」を持ち、社会的自立を目指して学び合う南っ子の育成

子どもの社会的自立を目指すためには、なにより「言葉の力」を身につけることが必要です。本校では、読書活動と連動した単元を貫く言語活動を推進し、国語科における思考力・判断力・表現力などの育成を目指して研究を進めてきました。併せてキャリア教育についての理解を深め、ライフキャリアを身につけ主体的な学びができる児童の育成に取り組んできました。



成果について

・読書活動推進協議会と公開授業

県指定で12月に全10クラスで授業公開を行いました。公開授業に向けて研究を進めることで、これまでのような授業の進め方だけでは、子どもの実生活に役立つ読解力や、今後の社会生活で必要とされる思考力・判

断力・表現力を育成することが難しいことに気づきました。教師の授業改善の必要性を強く感じ、単元構想づくりの手だてを少しずつ明らかにしていくにつれて、単元を貫く言語活動を展開する意義をはっきりと自覚できるようになりました。

・「図書館を使った調べる学習コンクール」への参加

今年も図書館の調べ学習コンクールに全校生が臨み、とてもたくさんの賞をいただきました。この調べ学習は、生涯を通じて本とかかわり、情報を活用することができる子どもの育成に大きな意味を持っています。

課題として

「言葉の力」の育成は国語科のみで進めるだけでは不十分です。国語科で身につけた思考力・判断力・表現力を活用する活動を他教科や特別活動などで仕組み、生涯生きて働く力にしていけるよう取り組みを進めていく所存です。

終わりに

PTA活動での資源ゴミ回収、図書・園芸・ミシンボランティア、登下校の見守り他、たくさんのご支援をいただきありがとうございました。学校、家庭、地域が互いに得意なことに存分に力を発揮し、社会的自立を目指して確かな学力を身につける子どもに育てていきたいと思います。引き続き温かなご支援をお願いいたします。

明朗・自治・創造 「当たり前のことを馬鹿にせず ちゃんとやる人こそできる人」を目指して!

成果と課題

○わかる授業づくり

授業の基礎・基本を徹底し授業改善に努めているところです。今年度も、数学科を中心に「言語活動の充実」をテーマに掲げて授業研究に取り組みました。結果として、生徒の発表も活発でアクティブに授業に取り組む姿が見られました。しかし、家庭学習については、個人差があり学習習慣の定着を図る必要があります。

○生徒会活動の充実

年間目標を「みんなが笑顔、そして、過ごしやすい環境にしよう」と定めて活動して参りました。そして、「みんなが安心できる学校生活を送る」「地域に愛される学校」などを目指してがんばって来ました。今年度は、「ほめる日」の実施、生徒会主体の「ノーチャイムデー」、「溝掃除ボランティア」、地域と連携した「プルタブ回収」、特に、歴代生徒会の願いであった、全学年が一斉に行う「校内球技大会」を成功させました。また、第2回播中SMILE大会議も継承し、より良い播磨中づくりに励んでくれました。



○課題教育への取り組み

キャリア教育の一環として、本校卒業生の先輩3人を講師に招き講演会を実施しました。「自分を磨く 視野を広げる 感謝する」をテーマに、それぞれの中学生時代や現在の実践をもとに、これからの人生にとって必要なことを熱く語っていただきました。生徒たちは身近な先輩からのメッセージとして、今の自分を振り返るとともに、今後の生き方についても学んだようです。

○終わりに

LINEによるトラブルをはじめ生徒指導上の課題もありましたが、今年度も、PTA、地域の皆さまのご理解とご協力、そして応援により何とか無事に終えることができました。ありがとうございました。

播磨中学校ホームページ

<http://www.harimaj.ed.jp/>

家庭教育コラム20
子育てもわたしの
かがやく未来のために
—家庭でできること—

播磨町家庭教育推進委員会

＜家庭教育の基礎は、子どもとしっかり向き合うことから＞

あなたの家庭は大丈夫？④

【チェック！】

②大人のペースに、子どもを巻き込んでいませんか？（その声）

（寝る時間）「お父さんお母さんは、まだ起きていますじゃない!」

（2月半のケースです。あなたの声かけは?）

◎「寝る時間は、大人と子どもは違うのよ」と、毅然とはっきり言います。

お母さんのお父さん、お母さんの説得力は、子どもにとってかなり強いものです。

「子どもは、心と体を休めることが大切なんだよ」と大人サイドの考えを誘導することも、時には必要です。

「早寝・早起き」は、健康や成長に良いだけでなく、時間のルールを身につけるチャンスと捉えてください。起きることができた時には、「自分で起きたね」と、ほめてあげましょう。

よく学び
よく育つ

播磨町立図書館
小田原 典子

本の世界へ

小学生の頃から本を読むことが好きだった私は、休み時間や放課後になると、いつも学校の図書室で過ごしていました。図書室の本に囲まれて「次はどんな本を読もうかな?」とワクワクしながら本棚を眺めていました。本は、私をいろいろな時代や世界に連れて行ってくれました。そして主人公と一緒に様々な体験をして、喜んだり、悲しんだりしました。また本の中で多くのことを学び、考え、知ることができました。

図書室は「子どもと本の橋渡しをし、子どもの中に本やお話を楽しむ力を育てる」という大切な役割があります。絵本の読み聞かせやブックトークをする中で、子ども

本に出会えることを願っています。

これからは播磨町の読書活動推進のために、公共図書館も積極的に支援協力をしていきたいと思ひます。そして、子どもたちが本によって学び育ち、人生の友となる本に出会えることを願っています。

寒くても元気いっぱい

蓮池幼稚園

毎朝保育園の友達と一緒に体操をしたあと、年中児は園舎の周りを2周走ります。「あっ、息が白い!」「暑くなってきた!」と体はすくばくばか。次は鬼ごっこです。今日はたんぼ組が鬼でちゅうりっぷ組が逃げます。鬼にタッチされないように身をかかわながら逃げるちゅうりっぷ組と、タッチしようとして一生けん命追いかけるたんぼ組です。「今日はタッチされなかったよ」「4人もタッチした!」と喜ぶ子どもたちや、「一生けん命走ったのにタッチされちゃった」と悔しそうな子どもたち。明日の鬼ごっこはどうなるでしょう?



子どもは風の子! みんなで一緒に体を動かして遊ぶと、とっても楽しくて気持ちがいいね。



一年をふりかえって

播磨南高等学校 生徒会副会長

今年1年間、播磨南高校の生徒会として様々な活動をしてきました。校内行事の企画はもちろん、学校内外で行われるボランティア活動に参加したことが印象に残っています。11月に実施された大中遺跡まつりでは、播磨南高校の生徒会として「お手玉いれ」を出店しました。たくさん子どもたちとふれあい、自分たちも楽しむことができました。また、東はりま特別支援学校の生徒会と協力し、陶芸品やお菓子などの販売や呼び込みなどをして交流しました。

2度のクリーンキャンペーンには、多くの生徒が参加して地域の清掃活動を行いました。その中で、地域の方々から「頑張ってる」「ありがとう」という言葉をかけていただき、励みになりました。

生徒会として活動していく中で、人と人のつながりを感じられる機会がたくさんありました。今後は、つながりを大切にしながら、これらの経験を将来のために役立てていきたいです。



昔遊び名人に挑戦だ!

蓮池小学校 1年生

12月5日に、昔遊びの名人(シニアクラブの方々)にたくさん来ていただきました。シニアクラブの方々に昔遊びのやり方やコツを教えてください、技を見せていただいたりしました。お手玉を3つ持ってリズムよく回したり、めんこを一気にたくさんひっくり返したり、竹とんぼを高く飛ばしたり、シニアクラブの方々のすばらしい技に「すごい!」と驚くことばかりでした。



昔遊びが終わった後は、「今までしたことのない遊びを教えてもらって楽しかった!」「最初は難しかったけど、だんだんできるようになってうれしかった!」「もっと上手になりたい!」などの感想がたくさん出ました。

この昔遊び以降、1年生の子どもたちは、休み時間も、けん玉やこま、お手玉などに夢中になって遊んでいます。今回教えてもらったことをいかして、名人に近づけるようになってほしいと思います。

校内マラソン大会

播磨中学校 全学年

12月13日に校内マラソン大会を行いました。3年生にとっては最後のマラソン大会。ただ、3年生は部活動を引退しているので体力がおちてしまい、元の体力を取り戻すのに苦労しているようでした。ですから、体育の授業の中でしっかり走り込み、力をつけていきました。中には、自主練習で走っていた子たちもいたようです。

大会当日、とても寒い中のスタートでしたが、寒さに負けることなく、どの子たちも一生懸命走りきりました。コースの途中で応援をしてくださる声が温かったです。保護者の方々を作ってくくださった、走った後の播中名物「うどん」は、格別においしく感じました。ご声援、ご協力ありがとうございました。

子どもたちは、自分と向き合い、改めて最後まで諦めず頑張ることの大切さを感じることができました。3年生は残り少ない中学校生活ですが、自分の進路に向けて、日々努力しながら走りきってほしいと思います。



第5回 播磨町図書館を使った調べる学習コンクール入選作品決定

1月18日に表彰式を行い、奨励賞以上の作品を表彰しました。

応募総数1,220点の中から以下の57作品が入選いたしました。各賞の受賞者は下記のとおりです。なお優秀な作品は、公益財団法人図書館振興財団主催の「第18回図書館を使った調べる学習コンクール」(全国コンクール)に出品し、26作品が入選しました。(応募総数57,070作品)

▶問合せ 図書館 ☎079(437)4500



☆播磨町長賞(4作品)

- 小学生の部
 - 南 達也 (播磨南小学校6年生)
 - 南 英里佳 (播磨南小学校4年生)
- 中学生の部
 - 上笹 のぞみ (播磨中学校3年生)
 - ※全国コンクール優良賞受賞
- 一般の部
 - 澤田 秀隆
 - ※全国コンクール奨励賞受賞

☆教育長賞(4作品)

- 小学生の部
 - 鎌田 紀羽 (播磨南小学校6年生)
 - 松下 結貴 (播磨南小学校3年生)
- 中学生の部
 - 藤野 智朗 (播磨中学校1年生)
- 一般の部
 - 藤川 真紀
 - ※全国コンクール奨励賞受賞

☆図書館長賞(4作品)

- 小学生の部
 - 田村 彩花 (加古川市立平岡東小学校6年生)
 - 片井 若葉 (播磨南小学校3年生)
 - ※全国コンクール優良賞受賞
- 中学生の部
 - 木村 亮太 (播磨南中学校2年生)
- 一般の部
 - 小栗 秀夫
 - ※全国コンクール優秀賞・図書館振興財団賞受賞

☆審査委員会賞(4作品)

- 小学生の部
 - 田中 優 (播磨南小学校6年生)
 - 佐藤 碧 (播磨南小学校3年生)
- 中学生の部
 - 青山 連也 (播磨南中学校3年生)
- 一般の部
 - 竹田 充子
 - ※全国コンクール優秀賞・読売新聞社賞受賞

☆ジョセフ・ヒコ賞(1作品)

- 小学生の部
 - 藪野 智香 (播磨南小学校4年生)

☆特別賞(1作品)

- 小学生の部
 - 宮崎 結蘭 (加古川市立浜の宮小学校3年生)

☆奨励賞(8作品)

- 小学生の部
 - 林 知里 (蓮池小学校6年生)
 - 上笹 なつき (播磨小学校5年生)
 - 中島 海音 (播磨西小学校5年生)
 - 宮田 樹 (播磨南小学校5年生)
 - 杉ノ原 昂太郎 (播磨南小学校4年生)
 - 吉岡 咲笑 (播磨南小学校4年生)
 - 田中 萌衣 (播磨南小学校3年生)
- 一般の部
 - 明石市立あかねが丘学園(竹中和子、橘佐記子、田中美佐江、衣笠泰博、小林俊雄)

☆佳作(31作品)

- 小学生の部
 - 河内楓子、鈴木遥香、升田藍梨、神戸涼羽、高瀬日向、谷川陽成、筒井美依奈、中塚藍、中村瑞歩、谷内葵、山本穂乃香、石野晃成、小中心結、末次健人、徳田晴香、上野帆乃夏、岸田峻輔、筒井海地、山路智礼
- 中学生の部
 - 松田真美、龍政樹、飯田愛唯樺、井原巧十、木村亮太、小林亜衣、岡田雄太、筒井真人、
- 一般の部
 - 明石市立あかねが丘学園(飯田一弘、今井澄子、岡本滋、岩佐弘子、金盛敏行、織田民子)
 - 明石市立あかねが丘学園(瀧まり子、河上芳子、兼竹昭一、斎藤香代子、岸賢治、川合敏雄)
 - 明石市立あかねが丘学園(坂手知行、難波哲彦、長谷川純子、長谷川朋子、服部玲子)
 - 明石市立あかねが丘学園(榎野忠志、前田道子、増田淳子、松下利子、吉川宏司)